

2002 神戸学院大学 Green Festival

第179回

5月11日(土) 15:00開演

●大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

指揮/下野竜也

独奏/今尾淑代(ハーブ)

第180回

5月25日(土) 15:00開演

●白石禮子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ/東誠三

第181回

5月26日(日) 15:00開演

●神戸学院大学吹奏楽部

指揮/佐藤寿子 前田浩志

第16回サマーコンサート

第182回

6月8日(土) 15:00開演

●吉井美由紀 ピアノ・リサイタル

第183回

6月22日(土) 15:00開演

●仲道郁代 (ピアノ)

小林美恵 (ヴァイオリン)

ソロとデュオの午後

第184回

6月27日(木) 16:30開演

●かわせみ座公演『まほろばのこだま』

作・原案/山本由也、益村泉

構成・演出/高畑勲

第185回

7月6日(土) 15:00開演

●谷本華子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ/田中修三

●入場無料



会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

神戸学院大学イベント情報

- お申込方法 ◎官製往復ハガキを使用してください。申込者多数の場合は抽選になります。
 - ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・ 返信裏面は空白のままにお願いします。
 - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・ 締切日は各公演日の2週間前(必着)です。公演日1週間前までに抽選結果をお返します。
 - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
- お申込み・お問い合わせ先
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1607
- 交通経路と所要時間
 - ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
 - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
 - ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終点下車後徒歩約12分※お車でのご来場は固くお断りいたします。

大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

- 曲目 ●モーツァルト……歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」序曲 K.588
- ヘンデル……ハープ協奏曲 変ロ長調 作品4-6
- ベートーヴェン……交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

下野さんの3回目の登場。小沢征爾氏も出世のきっかけになったフランス・プザンソンのコンクールで昨年見事に優勝してますます活躍の場が広がっており、その構成力、表現力には注目すべきものがあります。メインの曲としてこのころベートーヴェンの交響曲をとりあげていますが、今回は長大な規模の第3番「英雄」です(あとは「田園」と「第9」を残すのみで、この2曲も下野氏によって明年ご披露の予定)。首席奏者を独奏者に立てた協奏曲はハープの出番。ヘンデルはこのジャンルで最も有名な曲です。大阪フィルは14回目のフェスティバル登場です。

白石禮子 ヴァイオリン・リサイタル

- 曲目 ●モーツァルト……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調 K.301
- フランク……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調
- ドビュッシー (ハイフェッツ編)……美しき夕暮
- ラフマニノフ……ヴォカリーズ 作品34-14
- プロッホ……ニーグン (「パール・シエム」より)
- メシアン……イエズスの不滅性への頌歌 (「世の終りのための四重奏曲」より)
- ラヴェル……ツィガヌ

パリ音楽院出身。ヴェニエアプスキ国際コンクール第3位の輝かしい経歴を持ちます。1993年の帰国デビュー・リサイタルで絶賛されましたが、その後も水戸室内管弦楽団、倉敷音楽祭などに参加して活躍中です。ヴァイオリン・ソナタの傑作フランクが聴き物ですが、プログラム後半の小品も変化に富み、ヴァイオリンの魅力を十二分に楽しんでいただけるでしょう。1995年秋に続き、2回目のフェスティバル登場です。ピアノの東さんは初登場ですが、数多くの国際コンクールで優勝あるいは入賞。ソロはもちろん、室内楽でも大活躍中です。

神戸学院大学吹奏楽部 第16回サマーコンサート

- 曲目 ●小長谷宗……「スター・バズルマーチ」
- 本年度全日本吹奏楽コンクールより1曲
- 他1曲

今回のプログラムは第1部がシンフォニックステージとし、上記の曲を、第2部では「映画」をテーマにお客様もお楽しみいただける内容となっております。

吉井美由紀 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●ニールセン……3つのピアノ小品 作品59
- シューベルト……即興曲 D.899 (作品90) <全4曲>
- リスト……詩的で宗教的な調べ より 祈願/アヴェ・マリア/眠りからさめた子供への賛歌/パレストリーナによるミゼレレー/愛の頌歌

グリーン・フェスティバル初登場。東京芸術大学のご出身で、ドイツのミュンヘン国立音楽大学へ留学。その後もドイツを中心に活躍され、テノールのエルンスト・ヘフリガー氏ほかの名手との協演歴があります。レパートリーは極めて広く、1999年から進行中のバッハ「平均律クラヴィア曲集」連続演奏が注目を集めています。今回はシューベルトの名曲を中に入れて、比較的珍しいニールセン、リストの数多いピアノ曲の中でも演奏されることが少ない大曲「詩的で宗教的な調べ」の抜粋という意欲的なプログラムです。

仲道郁代・小林美恵 ソロとデュオの午後

- 曲目 ●J.S.バッハ……無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第3番 八長調 BWV.1005
- モーツァルト……ピアノ・ソナタ イ短調 K.310 <ピアノ・ソロ>
- 仲道郁代……ヴァイオリンとピアノのためのポエム 作品1 <日本初演>
- ショパン……バラード 第1番 ト短調 作品23 <ピアノ・ソロ>
- ショパン……夜想曲 第20番 嬰ハ短調 遺作 <ピアノ・ソロ>
- シューマン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 イ短調 作品121

ベートーヴェンの連続演奏を完結した仲道さんは、13回目、小林さんは4回目の登場ですから、お二人の紹介は不要でしょう。ソロとデュオの両方を楽しんでいただくという欲張ったプログラミングですが、デュオの方では、目玉の一つとして現在までのところ唯一の仲道さんの作品を日本で初紹介いたします。もう一つのシューマンのソナタはやや淡く、ポピュラーな作品ではないかも知れませんが、独創性にあふれており、お二人がその魅力を十分に引き出して下さることでしょう。ソロの方には「王道」とも言うべきバッハと「珠玉」のモーツァルト、ショパンが登場します。

かわせみ座公演『まほろばのこだま』

- 作・原案 ●山本由也、益村泉
- 構成・演出 ●高畑勲

久しぶりの「かわせみ座」の公演です。この2年、かわせみ座はスタジオジブリのアニメ作品で有名な高畑勲監督を招いての『まほろばのこだま』を発表。また、ビートたけしのテレビ番組「たけしのだれでもピカソ」に出演して大きな反響と支持を得ました。まさにブレイクという言葉がぴったりです。かわせみ座は、人形を使ったパフォーマンスシステムです。しかしみなさんがイメージする人形劇ではありません。アート・ドールとしても一級の人形が名人芸ともいえる山本由也の操作によって、まさに息を吐くように動き出します。それは、人形とはどのように動くものだったのか!と驚かすにはいられないものです。『まほろばのこだま』は、そのようなかわせみ座の魅力を高畑勲氏が最大限に引き出した大作です。日本人の心にある幻想や夢が、ほんとうに目の前で繰りひろげられる素晴らしい舞台。ぜひ、ごらんください。

谷本華子 ヴァイオリン・リサイタル

- 曲目 ●モーツァルト……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ホ短調 K.304
- ブラームス……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 イ長調 作品100
- ヴィターリ……シャコンヌ ト短調
- ガーシュウィン……歌劇「ボーギーとベス」より 6つの小品
- サラサテ……ツィゴイネルワイゼン 作品20

優秀な地元の若手を紹介するシリーズのひとつです。桐朋学園大学のご出身。カナダで研鑽を積んだ新鋭で、小・中・高校の頃からコンクール優勝を積み重ね、海外でも上位入賞。国内・外の多くのオーケストラとの協演もあり、2001年度の「音楽クリティック・クラブ賞」を受賞されました。前半に代表的なソナタ、後半にヴァイオリンの特徴を生かした小品という魅力的なプログラムです。ピアノの田中さんも地元の方で、京都市立芸術大学のご出身。国内・外のコンクールで再々入賞、多くのオーケストラと共演を重ねる実力派です。お二人ともグリーン・フェスティバルへは初登場。